

NHKの公開収録で民謡の世界を満喫

11月16日、産業文化会館ホールでNHK総合テレビ「民謡魂 ふるさとの唄」の公開収録が行われました。今回の番組収録は、市制施行65周年とNHKさいたま放送局開局70周年を記念して開催されたものです。アイドルグループTOKIOの城島茂さんが司会を務めるこの番組は、民謡やふるさとの唄など、日本の伝統音楽の素晴らしさを再発見する内容となっています。今回の収録では、民謡歌手の皆さんが行田音頭や秩父音頭など埼玉県にゆかりのある民謡を披露。観覧に訪れた方は力強い歌声に魅了され、民謡の世界を満喫していました。



写真館

GYODA CITY PHOTO STUDIO



イベント盛りだくさん りょうだ“夢”まつり

11月23日、産業文化会館前で「2014 りょうだ“夢”まつり」が開催されました。食と農業と環境の祭典として行われているこの祭りに、今年は25,000人が来場。会場となった産業文化会館前には、県内外のご当地グルメや農産物などを販売する店舗や自然環境を紹介するブースなどが立ち並び、大いににぎわいました。また、イベントをより一層盛り上げたのは、前回に引き続き開催されたゼリーフライ大食い大会です。出場者は2代目王者を目指し、25グラムのゼリーフライを夢中になって頬張っていました。



全日本テニス選手権の優勝を報告

11月25日、本市出身のプロテニスプレーヤー・江原弘泰さんが市役所を表敬訪問し、11月2日から開催された全日本テニス選手権の男子シングルスで初優勝したことを工藤市長に報告しました。同選手権は、今年で89回目を迎えた歴史ある大会です。ノーシードで出場した江原さんは次々とシード選手を撃破。決勝では第1シードの選手を相手に7-6、6-4と競り勝ち、初優勝を飾りました。工藤市長から「優勝したことを自信にして、これからも活躍してほしい」と激励の言葉を受けた江原さんは、「調子をさらに上げて、出場する全ての大会で優勝を狙っていきます」と抱負を語りました。



生き生きとした人生を送るために

11月15日、教育文化センター「みらい」で市制施行65周年記念講演会が行われました。音楽バンド「ゴダイゴ」のボーカル、タケカワユキヒデさんを講師に迎え、「地域で学ぶ大人の学習」をテーマにした講演を実施。生き生きとした人生を送るためには、常に「学ぶ」という意識を持つことはもちろん、「毎日を楽しむ、ちょっとした目標を持つ、自分に自信を持つ、好きなことを持つ、愛する人を持つ」この5項目の実践が必要であると話していました。タケカワさんの実体験も踏まえた分かりやすい説明に、来場者誰もが生き生きとした人生を送るためのヒントを得ているようでした。



航空自衛隊中部航空音楽隊による音楽を堪能

11月30日、産業文化会館で航空自衛隊中部航空音楽隊による市民ふれあいコンサートが開催されました。このコンサートは、市制施行65周年を記念して行われたもので、クラシックやクリスマスソング、さらには東日本大震災のチャリティーソングなど計12曲が披露されました。年間140回を超える演奏を行っている同隊は、繊細かつ迫力のある音楽で観客を魅了。アンコールにも応え、会場を大いに盛り上げていました。



たすきをつなぐ、思いをつなぐ

12月7日、総合公園内周回コースで第58回浮き城のまち行田駅伝競走大会が行われました。冬の訪れとともに実施されるこの大会に、101チーム・645人が出場。選手たちは、チームの優勝を目指して全力で走り、思いが込められた「たすき」を次の走者につないでいました。アンカーがゴールすると、選手たちは駆け寄り、お互いの健闘を笑顔でたたえ合っていました。



埼玉から世界へ～ミス・ユニバース埼玉決勝大会～

12月6日、「みらい」文化ホールで「2015ミス・ユニバース埼玉決勝大会in浮き城のまち行田」が行われました。ミス・ユニバース埼玉代表を決める今大会に出場したのは、県内各地で開催された予選会を通過した22人の女性たち。出場者は水着審査や審査員からの質疑応答、さらには一分間スピーチなどに臨み、外見の美だけでなく知性や感性といった内面の美をアピールしました。グランプリに輝いたのは、富士見市出身の下川原利紗さん。下川原さんは「皆さんの気持ちを背負って、必ず日本一になります」と力強く全国大会への思いを語っていました。

